



佐倉中だより

第11号

こうがくしんしゅ

《 校訓 》 好学進取

[編集・発行] 佐倉市立佐倉中学校

[生徒数] 1年 130名/2年 163名/3年 193名 全校 486名

令和6年3月1日(金)発行 TEL 043(484)1026

この春に思う

校長 前原 美智雄

春は名をみの風の寒さや。今年は記録的な暖冬とは言え、時折吹く寒い風が身にしみる時、まだまだ寒い日が続くのかと思いつつも、一日ごとに水が温み、暖かい風が流れ確実に春が近づいているはずだと楽しみになります。昔から「春」は人々に歓迎される季節であり、幸せを感じさせる季節です。

さて、三月は別れの時。新しいステップへ準備をする時。特に、三年生にとっては、義務教育最後の二週間です。各自、それぞれたくさんの思い出があることでしょう。ちょっと振り返ってみてください。

私は四十年余りに、中学三年生の三月を迎えました。不思議なことに、人生の中でこの近辺のことはよく覚えているのです。三月に公立高校の試験があり、雪まじりの日でもとても寒かった記憶があります。面接や作文などはありませんでした。予餞会（三年生を送る会）では、後輩たちが面白い劇を見せてくれました。我々も即興で歌ったりしました。テレビでは、萩本欽一さんの欽ドンや王貞治選手の756号のホームラン、アントニオ猪木VSモハメドアリ戦、ピンクレディーなどが思い浮かびます。また、新東京国際空港（現成田国際空港）の開港を複雑な気持ちで見っていました。歌では、およげ！たいやきくん、サザンオールスターズ、ビートルズ、フォークソングといったところでしょうか。学校では、ギタークラブがあり、ビートルズ、アリス、かぐや姫などの曲をコピーして、予餞会等で楽しんでいました。思えば、中学校三年間は、どの時代よりも濃密な三年間であったからこそ、しっかり覚えているのだと思います。

孟子に「自ら省みてなおくんば、千万人といえども吾行かん」という言葉があります。自分が正しいと思ふことならば、あらゆる障害を乗り越えろ、くじけるな！こうありがたいものです。とにかく人は易きに流れる。それもある意味、当然のことでもあり、仕方のないことかもしれません。しかし、壁にぶつかった時、ピンチになった時に人の真価が問われます。その時は易きに流れてほしくない。自分の立場だけを守るようなことはしてほしくない。責任を他に転嫁するようなことはしてほしくない。……と思うのです。

三年生の皆さんは、小学校、中学校と、コロナウィルス等の感染症の影響を受けながら、制限のある学校生活を送ってきました。限られた環境の中で学校生活を充実させ、この4年間、よく頑張り、困難を乗り越えました。

皆さんのこれからの人生、強い気持ちで自分の道を切り拓いていってください。自分らしく自分の一線をもって進んでください。周囲の助言に素直に耳を傾けてください。いろいろな事象をプラスに捉えてください。人生は現在進行形、前向きに進んでください。自分が納得できる、満足できる人生が送れたら、こんなに素晴らしいことはありません。

一・二年生の皆さん、三年生が卒業したら、今度は皆さんの番です。四月からの佐倉中を頼みますよ！

【 4月の行事予定 】

学年始め休業（～ 4/5）

8日(月) 着任式 始業式 弁当持参

9日(火) 入学式 弁当持参

10日(水) 身体計測 弁当持参

11日(木) 新入生歓迎会 給食開始

12日(金) 証明写真撮影

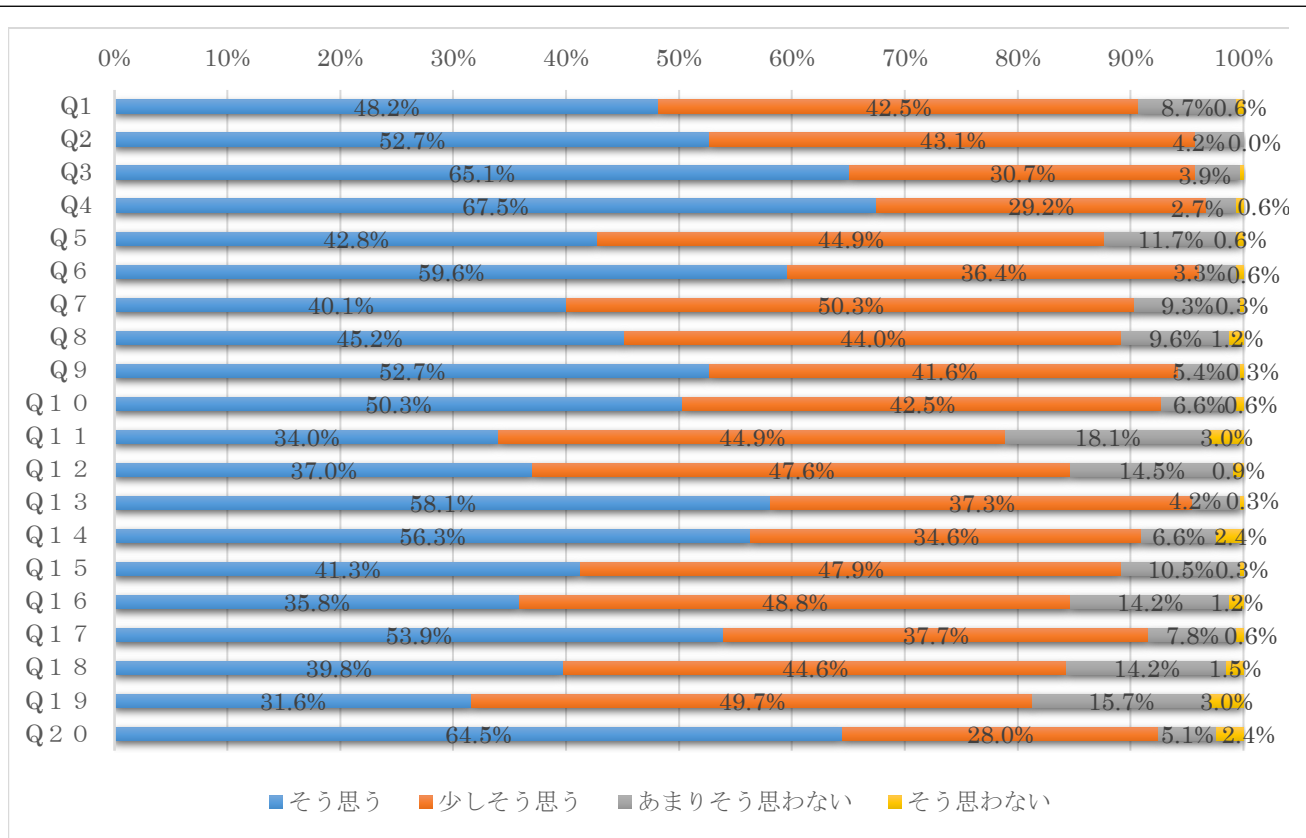
※『4月の行事予定』についての詳細は、来月の学校だより等でお知らせ致します。

【自転車保険加入の義務化について】

令和4年7月1日より、条例の改正に伴い、自転車保険への加入が義務化されています。未成年者の場合は、保護者に加入義務があります。各ご家庭で対応をいただきますよう、よろしくお願い致します。千葉県ホームページには、詳細がアップされていますので、そちらもご覧ください。

佐倉中ホームページをご覧ください。

<http://www.school.city.sakura.chiba.jp/sakura-jh/index.html>



- Q1 保護者会や文書，ホームページなどを通じて，教育方針がわかりやすく伝えられている。
- Q2 学校は，教育活動を通して，生徒の学力や心を育む指導に努めている。
- Q3 学校は，生徒が安心・安全に生活できる場として，環境づくりに努めている。
- Q4 学校は，生徒のケガや事故，様々な問題について，迅速・適切に対応している。
- Q5 学校は，積極的に保護者や地域と交流を図っている。
- Q6 学校は学習規律をきちんと指導し，安心して学習できる場を提供している。
- Q7 わかりやすく工夫された授業が展開されている。
- Q8 学校は，基礎的・基本的な知識・技能を定着させるために，少人数指導・ドリル学習・家庭学習の習慣化等に努めている。
- Q9 生徒の多くは，礼儀正しくあいさつをしている。
- Q10 学校は，教育相談や日常の指導を通して，生徒をよく理解し，悩みや問題に適切に対応している。
- Q11 学校は，体験学習を通して，進路や職業に対する意識や協働の意識の高揚に努めている。
- Q12 学校は生徒の進路や将来の生き方について適切に指導している。
- Q13 学校は，体育大会や桜陵祭等の学校行事を通して，生徒の主體的な運営を大切にし，リーダー育成に努めている。
- Q14 学校は，部活動の指導を通して，生徒の心身の向上に努めている。
- Q15 学校は，特別支援教育に力を入れている。
- Q16 学校は，ユニバーサルデザインの視点から，授業や校内環境の整備に努めている。
- Q17 学校は，各種便りや保護者会等を通して，具体的な取り組みや子供たちの様子などを家庭や地域に伝えている。
- Q18 学校は，授業や行事等に，保護者や地域の人材・施設・自然を活用するなど，地域に根ざした教育活動に努めている。
- Q19 PTAの各活動が活性化しており，活動内容が理解しやすいものとなっている。
- Q20 お子様は楽しく充実した学校生活を送っている。

過日今年度の教育活動について保護者アンケートを実施いたしました。多くの方々からご回答いただきましたこと、感謝申し上げます。評価結果を見ると、生徒の安全に関わる指導（Q3）や、ケガや事故等に対する迅速対応（Q4）について高評価をいただいていることがわかります。また生徒の学力や心を育む指導（Q2）及び、授業における学習規律の確立（Q6）についても良好な評価を多くいただきました。一方で、地域と学校の交流（Q5）、子供たちの体験学習（Q11）、PTA活動の活性化（Q19）などについては、肯定的な回答の割合が比較的減少している傾向にありました。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、大きな行事は制限無く開催することができました。しかし、2年生の職場体験学習は再開の見通しが立たず、お祭りボランティアなどの地域との交流も完全に復活した状況とはなっていません。それらが原因となり、今回の結果に表れていると認識しております。また、PTA活動につきましては、事前告知等を含めた広報活動の不足が活動の活性化につながっていないため、次年度への課題を残しました。今年度は保護者の皆様にごできるだけ学校に来ていただく機会を設けてまいりました。体育祭や桜陵祭（合唱コンクール）では、保護者の皆様に参観いただく機会を持つことができました。行事におけるリーダー育成（Q13）において高い評価をいただいていることは大変うれしく感じております。来年度は佐倉中の新しい教育課程を行っていく中で、学校教育の新しい形を確立していく必要があると考えております。急速に変化していく多様化した社会の中で、子供たちがたくましく歩んでいくためには、様々な体験や他とのつながりは不可欠だと捉えています。子供たちが生き生きと活動し、主体的に学んでいく場面をできる限り増やし、健全でたくましい生徒の育成を目指してまいります。今後ともご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。